

# 城東学園

## 新たな学園づくり地域検討委員会

### だより No. 8

### 城東学園新たな学園づくり地域検討委員会報告書〈概要版〉

城東学園新たな学園づくり地域検討委員会では、城東学園における小中一貫教育にふさわしい学園・学校づくりの検討を重ね、検討結果を報告書としてまとめました。地域検討委員会だよりNo.8号では、その報告書の概要版として学園内の保護者の皆様、地域の皆様にお知らせします。

掛川市では中学校区を  
「学園」と呼んでいます。

### 1 中学校区学園化構想をさらに推進し、 連携教育から小中一貫教育へ

#### (1) 中学校区学園化構想

- 各学園内の園、小学校、中学校等が連携を強化し、一貫性のある教育を推進しています。
- 地域連携による園や学校を支援する活動や、地域の子どもたちをすこやかに育むための教育活動を行っています。



【学園化構想イメージ図】

#### (2) 学園化の歩み

- 平成20年度 掛川市中学校区学園化検討委員会
- 平成21~22年度 栄川中学校区小中連携教育研究
- 平成23~24年度 城東中学校区地域連携教育研究
- 平成25年度 全中学校区で中学校区学園化を開始
- 平成28年度 掛川市中学校区学園化構想第2ステージ検討委員会  
※これまでの学園化の実践を踏まえ、子どもたちの未来を拓く  
新たな学校づくりについて検討
- 平成29~31年度 城東学園小中一貫教育研究

### 2 城東学園新たな学園づくり地域検討委員会

#### (1) 目的

- 城東学園の小中一貫教育を推進するための、最善の学校施設の在り方を検討し、その方向性を提言する。

#### (2) 方法

- 平成29年12月から平成31年3月までの1年3か月間に8回の検討委員会を開催しました。子どもを取り巻く社会状況の急激な変化を認識し、地域・保護者・子ども・施設などの多面的な視点で考察する中で、小中一貫教育にふさわしい新たな学園づくりについて検討しました。



【検討の様子】

### 3 提言

城東学園の地域性や歴史・現状を踏まえ、小中一貫教育を推進するために  
ふさわしい学校の在り方については、「施設一体型」または「施設隣接型」の学校の整備が望ましい

#### 1 城東学園の小中一貫教育研究

##### 城東学園の目指す子ども像

「城東を愛し、未来をたくましく生き抜く子ども」

##### 研究内容

- ・小中一貫教育計画の検討
- ・学校間の交流活動

##### 成果

- ・中1ギャップの緩和
- ・教育計画の効率化

##### 課題

- ・交流の際の打合せ時間や移動時間の確保
- ・乗り入れ指導の充実



#### 4 学校の施設形態

小中一貫教育にふさわしい学校形態について検討を行いました。

中学校と小学校との距離の違いから、右の3パターンを中心に、それぞれの形態の良さや課題について考えました。

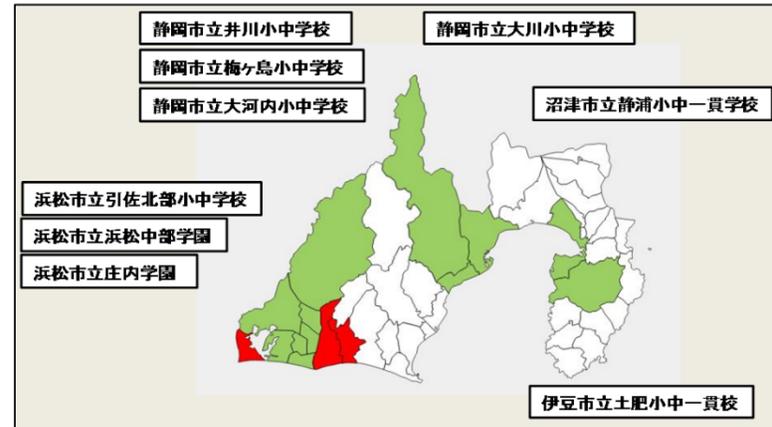
	ア施設一体型	イ施設隣接型	ウ施設分離型
敷地	同一敷地内		隣接
校舎	同一	併設	分離
校長	1～2名		各学校それぞれ校長と教頭を配置
教頭	2名		
中学校の教員の専門性を生かした授業	可能	ほぼ不可能	不可能
合同行事	行いやすい	比較的行いやすい	行いにくい
児童生徒の交流 教職員の往来	とても容易	容易	不便

#### 2 国や近隣市町の動向

##### 国の施策

- ・平成28年4月に改正法が施行され、義務教育学校の設置が可能となりました。
- ・平成28年12月に「小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引」が策定され、具体的な方策が示されました。

【静岡県内における施設一体型小中学校】

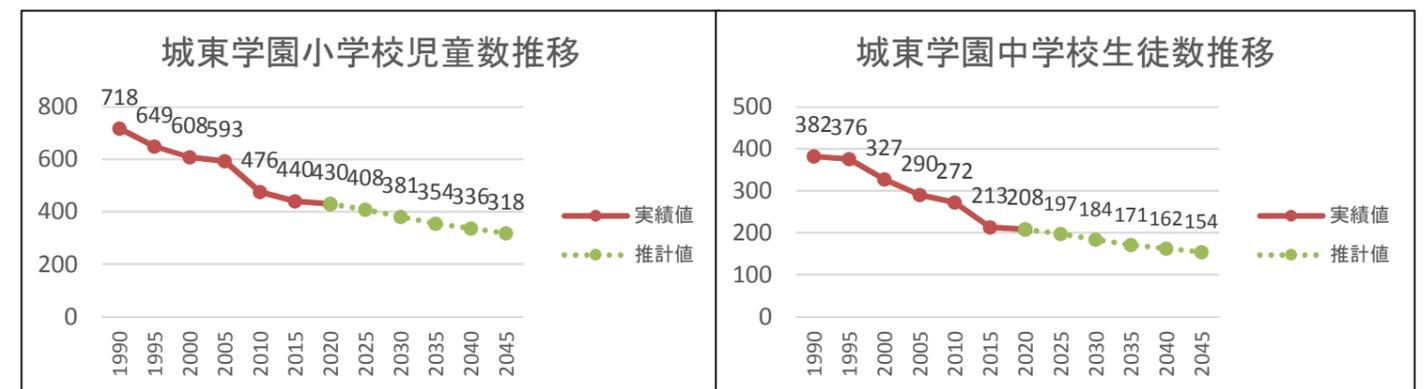


##### 近隣市町の状況

- ・多くの市町で小中一貫教育を推進しています。
- ・施設一体型の学校も増加傾向にあります。

#### 5 児童生徒数の推移

児童生徒数は年々減少しています。今後は少子化の進行に伴い、益々子どもの減少が推測されます。



【平成27年国勢調査から国立社会保障・人口問題研究所が出した全国人口推計結果をもとに算出】

#### 3 校舎の老朽化

##### 学校施設の建築年数表

学校名	校舎		体育館		プール	
土方小	S38	55年	S51	42年	H15	15年
佐東小	S56	37年	S52	41年	S40	53年
中小	S54	39年	S54	39年	S56	37年
城東中	S49	44年	S51	42年	S50	43年
平均	43.8年		41.0年		37.0年	

4小中学校とも、学校施設の老朽化が進んでいます。土方小学校校舎が市内小学校で最も古く、55年の経年劣化は顕著です。

#### 6 1学年複数学級を有する学校への視察

##### 学校の雰囲気や施設を視察

学校の雰囲気は明るく、ゆとりが感じられました。その中で子どもたちの活発な雰囲気を味わうことができました。

教室のホワイトボードには写真資料やデジタル教科書を容易に映し出せるなど、教育環境整備がなされていました。



##### 【中央小学校】

#### 7 掛川市の公共施設マネジメント

掛川市が管理する公共施設は昭和50年代以前に建設されたものが多く、今後、施設の維持更新に多額の費用がかかることが予想されます。

これから、市が施設管理を行っていく上で右の3つの方針を踏まえて検討する必要があります。

これは、学校施設においても同様に考える必要があります。

- ①保有量の適正化
- ②今ある施設の長寿命化
- ③運営管理の適正化



## 新たな学園づくり検討の経過

### 【新たな学園づくり地域検討委員会】

- 第1回 平成29年12月12日
- 第2回 平成30年 1月31日
- 第3回 平成30年 3月16日
- 第4回 平成30年 5月23日
- 第5回 平成30年 7月11日
- 第6回 平成30年10月19日（中央小視察を兼ねる）
- 第7回 平成30年12月13日
- 第8回 平成31年 1月18日

### 【保護者説明会】

- 城東保育園：平成30年 4月 4日
- 土方小、佐束小：平成30年 5月12日
- 佐束幼稚園：平成30年 5月24日
- 中幼稚園：平成30年 5月29日
- 土方幼稚園：平成30年 5月31日
- 中小：平成30年 6月 2日

### 【地域意見交換会】

- 第1回 平成30年 1月19日
- 第2回 土方地区：平成30年 8月29日 佐束地区：8月30日 中地区：9月 1日

## 一般的な学校施設建設の流れ

今後、市と教育委員会において、今回提出された報告書の内容を尊重しながら、市としての方向性を検討していきます。

来年度から調査研究が予定されている市内全小中学校を対象とした小中学校の再編計画の検討を踏まえて、施設一体型または施設隣接型の学校施設の整備等を行っていきます。

学校施設の整備の際の一般的なスケジュールは下記のとおりです。

### (1) 学校施設建設の工程

- ア 小中学校施設整備に向けた基本構想の策定  
→目指す学校の姿、学校を設置する場所、開校の時期、施設整備の内容等について検討
- イ 建設工事の基本設計、実施設計  
→具体的な建設工事の設計を行う
- ウ 必要に応じて用地の取得、敷地の造成
- エ 建設工事

### (2) 学校開校準備委員会での検討

- 学校の名称、校章、校歌等の検討
- 施設一体型の小中学校、または隣接型の小学校の一体化に向けた調整

報告書の詳細は、掛川市のホームページに掲載されていますので、こちらも御覧ください。

城東学園新たな学園づくり

検索

御意見・御質問等ございましたら、  
お寄せください。

発行・編集  
掛川市教育委員会 教育政策室

〒436-8650 掛川市長谷一丁目1-1  
電話：0537-21-1109 FAX：0537-21-1222  
E-mail：kyoikubu@city.kakegawa.shizuoka.jp

